



市議会だより

平成17年第4回臨時市議会は8月18日開会され、議案1件を審議して同日閉会いたしましたので、その内容についてお知らせいたします。

■補正された予算
平成17年度一般会計予算に総務費で1億4千612万3千円と補正予算の内容は、衆議院議員選挙経費です。

問い合わせ先
議会事務局
☎④2111 内線316番

当市は、早くから効率的な行政運営を推進するため、行政改革を計画的に進めてきているほか、消防組合や介護認定など、広域連携がふさわしい事務事業についても合わせて取り組んできております。

今後とも、さらに「小さな地方政府」を目指し、行財政改革の不断なる推進をはじめ、新しいゴミ処理施設の整備や地域医療対策など、引き続き実効性のある広域行政の推進に向け、近隣町村との連携をなお一層深めてまいります。

また、これからは民間や市民の自主的な活動が活発化し、従来型の行政に依存しない新しいまちづくりのスタイルが増えてくるのではないかと考えております。

そのひとつの先駆的な動きとして、「旧上藻別駅通」が、この春から行政の支援を受けずに、市民有志の方々の手によってよみがえり、紋別の歴史を伝承する行政脱却型のユニークな施設となりました。

これを先進事例として捉え、学ぶべきものは学び、ま



た、行政が改めなければならぬ点は改め、市民パワーを

生かしたまちづくりを進めていくことが今後さらに必要となつてきます。

紋別には様々な経験や特技などを持ち備えたお年寄りや、自分の生きがいを求め地域で活動したい方々が、潜在的に数多くおり、活動の場や機会を求めていると思えます。

私は、人的パワーを生かした取り組みが、地域の明日を担う子供たちや様々な可能性を秘めている人たちに、新たな発見の場を与え、紋別の人的資源の活性化剤となると思っております。

民間も行政も、意欲ある、創造性豊かな、行動力のある人材を如何に輩出し、その人材を生かす機会づくりをどう提供していくかがカギとなります。

人を育て、活かすこと、そのことが、まちの発展の可能性に大きく結びついていくと思えます。

私は、このまちを市民の活動のステージとして捉え、自

分たちの可能性を發揮できる機会づくりを、市民と行政が共に手を携えて、共に行動し、市民みんなが自分たちのまちを、自分たちの手で創っていくという、真の市民協働のまちづくりに取り組んでまいります。



以上、私の市政執行にあたっての所信の一端を申し上げましたが、具体的なまちづくりの展開方向につきましまして、新年度予算と合わせて市政執行方針の中で申し述べたいと考えております。

今後の市政執行にあたりましては、市議会議員の皆さん並びに市民の皆さんのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。私の所信表明といたします。